

# 【公開文書】

臨床研究「手術室証明環境、映像環境に関する調査及び製品開発」について

筑波大学附属病院消化器外科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究の概要は以下のとおりです。

## ① 研究の目的

手術手技の継承や高度な手技を持つ若手外科医の育成は、これまで長時間の手術に入って実際に見て覚えるという伝統がありました。しかし、働き方改革や手術の担い手の減少、さらには腹腔鏡手術やロボット手術が増加する現状で、若手外科医が高難度な開腹手術を習得する機会を得るのが難しくなっています。この状況を改善し外科を志す若手が効率的に学習できるようにするため、開腹手術を正確に映像として残すことが重要と考えております。現在、手術室で多く用いられる天吊り型のカメラでは、術者の頭が入り込み、重要な部分を撮影するには手術中に多大な労力を要するという問題点がありました。本研究では、これらを改善した新しいコンセプトの手術照明装置を持った映像記憶装置を開発することが目的です。

## ② 研究対象者

2020年10月から2023年10月までの間に、筑波大学附属病院消化器外科において食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓などの開腹手術を受けた患者さま

## ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年12月31日まで

## ④ 研究の方法

本研究では、山田医療照明株式会社と共同研究開発を行い、筑波大学消化器外科で開腹手術、開胸手術を受けられる患者さんを対象に、試作機を実際に手術室で使用して効果と実用性を検証し、改良しながら商品開発を行うものです。

## ⑤ 試料・情報の項目

手術の内容（術式）と映像を解析用を使用する可能性があります。本研究では、病名や患者さん個人を特定できる情報を含む項目を使用することはありません。

## ⑥ 情報の管理について責任を有する者

研究責任者：小田竜也 所属：筑波大学医学医療系 消化器外科 教授

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、診療録上の情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：消化器外科

古屋欽司、宮崎貴寛、土井愛美、下村 治、橋本真治、小田 竜也

電話：029-853-3221（内線 98419） FAX:029-853-3222 平日 9～17 時